

GWにはすでに突入しているわけだが、突入前の市場は為替・株式・商品相場ともに比較的平穏な展開であった。各種の経済指標の発表や FOMC、日銀金融政策決定会合など盛りだくさんの材料はあったのだが、大きく一方通行になるような動きはなかった。

まずは米国時間 25 日の FOMC では…

バーナンキ議長は記者会見で、「われわれは引き続き、今の景気回復を維持し、インフレが目標値付近で推移するよう、必要に応じて追加の行動を取る用意がある」と述べた。

米金融当局者は失業率予想を下方修正し、成長率予想を上方修正した。その一方で、政策金利を少なくとも 2014 年遅くまではゼロ付近で維持する方針をあらためて確認した。

FOMC メンバーの今年の成長および失業率予測によると、中央傾向は今年第 4 四半期の失業率が平均 7.8-8%。1 月時点では 8.2-8.5%だった。成長率は 2.4-2.9%と、1 月の 2.2-2.7%から上方修正された。

とどのつまり、「米景気は良くなるはずだから、すぐには QE3 はやらないよ」という話だ。だが「必要に応じて…」と玉虫色にしておいたわけで、市場はその前日までに「どうせ見送りだろう」と見ていて下げていたので、動かなかったということだ。

当たり前だが、QE3 観測が出てくれば商品市場は上げトレンドに入る。引き締めなら下がる…という事である。今のところ FRB は、急騰も急落も困るというスタンスか。中央銀行のスタンスは、まあ何時だってそうだが。

## 2012 年 4 月 27 日

日本銀行

金融緩和の強化について

1. 日本銀行は、本日、政策委員会・金融政策決定会合において、資産買入等の基金につき、以下の決定を行った（全員一致）。

（1）資産買入等の基金を 65 兆円程度から 70 兆円程度に 5 兆円程度増額する。その内訳は次のとおりとする（注）。

① 長期国債の買入れを 10 兆円程度増額する。

② 指数連動型上場投資信託受益権（ETF）の買入れを 2 千億円程度、不動産投資法人投資口（J-REIT）の買入れを百億円程度、それぞれ増額する。

③ 期間 6 か月の固定金利方式・共通担保資金供給オペレーションについては、応札額が未達となるケースが発生している状況を勘案し、5 兆円程度減額する。

（2）買入れ対象とする長期国債の残存期間については、今回の増額分を含めて多額の買入れを円滑に進め、長めの金利へ効果的に働きかける観点から、従来の「1 年以上 2 年以下」を「1 年以上 3 年以下」に延長する。社債についても、長期国債と同様に、買入れ対象の残存期間を延長する。

（3）基金の 70 兆円程度への増額は 2013 年 6 月末を目途に完了する。なお、本年末時点における基金の規模は従来通り 65 兆円程度とする。

上記は、金融政策決定会合の後に日銀が出したレジュメだ。この発表後に商品市場では、例え

ば金はいきなり 30 円ばかりドカンと下げ、その後 50 円近く急騰し、最終的にまたダラダラと売られて安値圏での終了だった。おそらく総額 5 兆円に失望し、だが国債買い入れは 10 兆円増額に楽観視、その後また資金供給オペレーションは 5 兆円減額に冷静になったのかも…。

正直言って、何が何だか良くわからん。それが相場の動きにも出たのだろう。

東京市場はすでに GW 前半の連休に突入しているわけだが、NY タイムではちょっと円高になって終わっている。それが市場の出した答えなのかどうかも確定的ではないが、とにかく商品市場はそんなに動いていない。コーンの期近だけは、中国の買い付けで急騰している。だが期近の 29 セント高に対し、先物は 3 セント程度の上げしかしていないわけで、やっぱり大した事はない。

5/1 の連休中日の立会いにはもう一日分の外電が入るし、当日の夜間取引の影響もあるのだから、必ずしも小動きとも限らんが、とにかく 1 回分は平穏だ。

だが GW 後半戦は 4 連休なので、両建てで完全にリスク回避をすでに行なっている人以外は、やはり注目の 5 月 1 日、2 日の市場となるだろう。

## [貴金属]

### 今週の金の値動き

	4月限(当限)	前日比	2月限(先限)	前日比
4月23日	¥4,301	-17	¥4,299	-28
4月24日	¥4,305	4	¥4,265	-34
	6月限(当限)	前日比	4月限(先限)	前日比
4月25日	¥4,298	38	¥4,304	
4月26日	¥4,309	11	¥4,313	9
4月27日	¥4,290	-19	¥4,297	-16

金相場は、先週号においては『材料次第ではあるが、目先底は確認したのではないかと見方である。4,200円台は買い場であり、これから戻り相場に入ってゆくと考える』とコメントした。

今週の相場展開は、4/24には4,245円まで下落して、また最近の安値を僅かに更新。その後はまた戻し、基本的には4,300円を挟んだもみ合いが続いている状態である。

○東京金日足（最終日は10時現在までの値動きです）

…削除済み…

直近の高値4,560円（3/28）→4,245円（4/24）までの下げ幅は315円となった。先週の安値を5円だけまた更新したわけだ。

このチャートは10時現在までなので、後場には日銀金融政策決定会合の結果から乱高下が一時起きたわけだが、それは入っていない。だがそれも、基本的にはこのところのもみ合いの範囲内の動きであった。

さて現在の貴金属相場の見通しは、先に貴金属調査会社 GFMS が発表したように、『今年の価格予想レンジは1530～1920ドルで、平均価格は1731ドル』、『今年後半から2013年前半にかけては、根強い欧州債務危機に対する懸念や米国の追加金融緩和見通しを背景に2000ドルを超える可能性がある』、『ただし、2000ル超えは短期間に終わる公算』というもの。

これを現在の為替＝81円として国内換算するならば、『今年の予想価格レンジは3,980円～5,000円で、平均価格は4,500円』、『高値は5,200円を超えることもあるが、それは短命』という事だ。

もちろんこれが当たるかどうかは判らんわけだが、取りあえずこれを一つの指針として考えるしかあるまい。

一代の動きは以下のとおり。

#### 東京金一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年4月	¥3,970	4月26日	¥4,751	9月7日	¥3,807	12月30日	<b>¥4,305</b>
2012年6月	¥3,909	6月28日	¥4,754	9月7日	¥3,810	12月30日	¥4,290
2012年8月	¥4,506	8月29日	¥4,754	9月7日	¥3,808	12月30日	¥4,296
2012年10月	¥4,229	10月27日	¥4,652	2月27日	¥3,808	12月30日	¥4,291
2012年12月	¥4,037	12月26日	¥4,654	2月27日	¥3,808	12月30日	¥4,293
2013年2月	¥4,654	2月27日	¥4,654	2月27日	<b>¥4,245</b>	<b>4月24日</b>	¥4,295
2013年4月	<b>¥4,307</b>	<b>4月25日</b>	<b>¥4,342</b>	<b>4月27日</b>	<b>¥4,269</b>	<b>4月26日</b>	¥4,297

○NY 金日足 (4/26 現在)

…削除済み…

週末4/27のNY市場は、前日比4.3ドル高の1664.8ドル。80円20銭台まで円高となっているため、国内換算では15時半比6円高と小動きである。

NY市場のチャートは、…中略…

CFTC発表の4/24現在のファンドのポジションは、…中略…

4/27現在のETF残高は、…中略…

結論として当方の相場観は、現状ではまだ底値探りの展開が続いているが、どこで底打ち～反転に移るかを見極める時期か。基本的には突っ込みを買い拾う相場であろう。

今週のプラチナの値動き

	4月限(当限)	前日比	2月限(先限)	前日比
4月23日	¥4,115	-26	¥4,151	-32
4月24日	¥4,039	-76	¥4,077	-74
	6月限(当限)	前日比	4月限(先限)	前日比
4月25日	¥4,048	4	¥4,080	
4月26日	¥4,062	14	¥4,092	12
4月27日	¥4,075	13	¥4,085	-7

プラチナ相場は、先週号においては『4,300円と来れば底打ちムードがかなり広がるだろうが、現状では若干下向きの相場であり、どっちに向いてもおかしくないといったところ。もしも3,800円台まで下がるのなら、そこは確実に拾ってみたい』とコメントした。

今週の相場展開は、4/24には4,061円まで下落とまた僅かに新安値を更新。しかし相場は、突っ込むとまた戻る展開である。

○東京プラチナ日足（最終日は10時現在までの値動きです）

…削除済み…

直近の高値4,499円(3/28)→4,061円(4/24)までの下げ幅は438円。金と同様の日柄であるが、値幅は金の315円よりも大きく、株安の影響が大きかったことをうかがわせる動きだ。

チャートでは…中略…

現状の価格帯からは、もしも下に向かうのなら3,800円程度までなら下げてもおかしくはなからうし、それは買い拾いたいと考えているわけだが、この連休明けにでも出ないと無いのかもしれない。いずれにしたって、どこで買うかの相場であろうが。

一代の動きは以下のとおり。

東京プラチナー代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年4月	¥4,826	4月26日	¥4,921	5月6日	¥3,363	12月30日	¥4,039
2012年6月	¥4,445	6月28日	¥4,770	8月23日	¥3,370	12月30日	¥4,075
2012年8月	¥4,581	8月29日	¥4,726	9月7日	¥3,380	12月30日	¥4,069
2012年10月	¥3,918	10月27日	¥4,570	3月14日	¥3,375	12月30日	¥4,064
2012年12月	¥3,605	12月26日	¥4,582	3月14日	¥3,376	12月30日	¥4,074
2013年2月	¥4,535	2月27日	¥4,589	3月14日	¥4,061	4月24日	¥4,082
2013年4月	¥4,090	4月25日	¥4,141	4月27日	¥4,068	4月27日	¥4,085

○白金－金価格差日足

…削除済み…

週末現在のサヤは、4,085円（プラチナ）－4,297円（金）＝－182円。

4/25に－224円まで逆ザヤが進んだ。－547円(12/5)→95円(3/16)まで642円幅の変動

から、押しが 319 円と約半値押しとなったわけだ。

値開きだけを見れば、…中略…

結論として当方の相場観は、現状ではまだ右肩下がりのトレンドであり、底値を探りに行っている状態。ドカンと下げれば買い拾いたいが、連休明けの状態を見たい。

[穀物]

今週のコーンの値動き

	7月限(当限)	前日比	5月限(先限)	前日比
4月23日	¥25,850	0	¥23,320	-80
4月24日	¥25,700	-150	¥23,300	-20
4月25日	¥25,800	100	¥23,390	90
4月26日	¥25,800	0	¥23,220	-170
4月27日	¥26,000	200	¥23,080	-140

まずはコーンから…

先週号においては『戻り売り相場に変化はないものの、目先は23,000円割れで底を見ただろう。ちゃんと戻したところをまた売るべきだろう』とコメントした。

今週の相場展開は、23,000円台前半での弱保合い。期近だけは確りなので、逆ザヤも拡大であった。

○東京コーン日足（最終日は10時現在までの値動きです）

…削除済み…

25,180円（3/19）→22,760円（4/17）までの下げ幅は2,420円。そして今週は23,000円台での動きである。

ともかく今年のコーンのファンダメンタルズは、作付面積が75年ぶりの高水準となるなど良くないわけで、25,000円で天井を打っているというのが当方の見方。

…中略…

なお一代の動きは以下のとおり。

東京コーン一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年7月	¥28,180	6月16日	¥28,560	8月30日	¥22,110	12月15日	¥26,000
2012年9月	¥27,440	8月16日	¥28,550	9月13日	¥21,930	11月28日	¥25,600
2012年11月	¥24,400	10月17日	¥25,060	3月19日	¥21,110	1月1日	¥22,800
2013年1月	¥21,790	12月16日	¥24,890	3月19日	¥21,650	12月16日	¥22,550
2013年3月	¥23,290	2月16日	¥25,180	3月19日	¥22,370	4月17日	¥22,910
2013年5月	¥23,250	4月16日	¥23,530	4月20日	¥22,760	4月17日	¥23,080

○シカゴコーン日足（4/26現在）

…削除済み…

週末4/27のシカゴ市場は、前日比29セント高の急騰で653.00セント。国内換算では780円高である。

これは中国の買付の報で急騰したわけだが、限月は期近5月きりである。7月きりは18セント高、9月きりは2.50セント高となっており、その9月きり以降はすべてその程度しか上昇していない。

連休中日の5/1はもう一日分の外電が入るのでまだ判らぬが、今の状況では上がるのは期近の

みで、先物は動かないだろう。

なお CFTC 発表の 4/24 現在のファンドのポジションは、…中略…

結論として当方の相場観は、戻り売り相場に変化はないだろう。中国の買い付けは下支え材料にしかならず、天候懸念が大きく出ない限りは、コーン相場の上昇トレンドは発生しないだろう。



今週の大豆の値動き

	6月限(当限)	前日比	4月限(先限)	前日比
4月23日	¥42,800	200	¥44,880	360
4月24日	¥42,590	-210	¥44,380	-500
4月25日	¥43,380	790	¥44,990	610
4月26日	¥43,560	180	¥44,710	-280
4月27日	¥43,350	-210	¥44,640	-70

続いて一般大豆です…

先週号においては『4/9の高値で天井を打っているとの見方である。新高値更新なら一時的に撤退もやむなしだが、戻り売り方針である』とコメントした。

今週の相場展開は、44,000円台でのみみ合い。

○東京大豆日足（最終日は10時現在までの値動きです）

…削除済み…

コーンと違って強材料が多い大豆だが、46,680円（4/9）→43,710円（4/17）までの下げた後、戻しても45,000円までで頭の重い展開が続いている。

当方としては、46,680円はコーンから20日遅れの天井だと考えているわけだ。在庫も作付面積も少ない大豆のファンダメンタルズは強いが、それでも天井を打たない相場はないわけで、ファンもすでに腹いっぱい買った相場は、誰がこれ以上上値を買うのか？という考え方なのだ。

…中略…

なお一代の動きは以下のとおり。

東京一般大豆一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年6月	¥49,820	6月16日	¥49,910	9月5日	¥33,600	12月16日	¥43,350
2012年8月	¥47,450	8月16日	¥50,110	9月5日	¥35,610	12月15日	¥43,340
2012年10月	¥44,250	10月17日	¥45,340	4月9日	¥36,410	12月15日	¥44,900
2012年12月	¥37,500	12月16日	¥45,750	4月9日	¥36,830	12月16日	¥44,670
2013年2月	¥41,900	2月16日	¥46,680	4月9日	¥41,050	2月16日	¥44,580
2013年4月	¥45,350	4月16日	¥45,420	4月16日	¥43,710	4月17日	¥44,640

○シカゴ大豆日足（4/26現在）

…削除済み…

週末4/27のシカゴ市場は、前日比15.50セント高の1496.75セント。高値では15ドル台乗せを果たしており、新高値の更新である。しかし円高であるため、国内換算では30円高に留まる。

またこれも上げているのは旧穀だけで、新穀となるとほとんど上げていない。これでは東京も上がらぬだろう。

CFTC 発表の 4/24 現在のファンドのポジションは、…中略…

結論として当方の相場観は、ファンダメンタルズは強いので下がりづらい相場であるのは事実だが、それでも東京は新高値更新の勢いはない。天井を打っていると見ての、戻り売り方針である。

[コメ]

今週のコメの値動き

	5月限(当限)	前日比	10月限(先限)	前日比
4月23日	¥15,900	140	¥15,310	
4月24日	¥15,750	-150	¥15,260	-50
4月25日	¥15,650	-100	¥15,230	-30
4月26日	¥15,730	80	¥15,250	20
4月27日	¥15,940	210	¥15,260	10

○東京コメ日足（最終日は10時現在までの値動きです）

…削除済み…

昨日、28日に4月きり納会で受けたコメを出荷。現物はルートがあれば会津産コシヒカリでも高値でさばけるようになってきた。次に当きりに廻った5月きりも下がらないだろう。ともかく早場米の出回る時期までは、高値が続きそうな気配である。

問題は新穀10月きりであるが、新旧格差の1,000円を全く買わず、ちょっと意外な展開である。

…中略…

東京コメ一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年5月	¥14,700	11月21日	¥15,970	4月27日	¥13,440	1月11日	¥15,940
2012年6月	¥14,170	12月21日	¥16,000	4月24日	¥13,480	1月11日	¥15,900
2012年7月	¥14,240	1月23日	¥15,990	4月23日	¥13,820	1月26日	¥15,800
2012年8月	¥14,200	2月21日	¥15,650	4月24日	¥14,090	4月2日	¥15,360
2012年9月	¥14,200	3月21日	¥15,340	4月24日	¥13,990	4月2日	¥15,160
2012年10月	¥15,210	4月23日	¥15,380	4月23日	¥15,150	4月24日	¥15,260

今週も全限一代高値の更新である。期近は16,000円台半ばまでであるかも…。

[ゴム]

今週のゴムの値動き

	4月限(当限)	前日比	9月限(先限)	前日比
4月23日	288.9	0.3	307.0	-0.5
	5月限(当限)	前日比	10月限(先限)	
4月24日	288.6	-4.0	305.1	
4月25日	290.6	2.0	306.4	1.3
4月26日	293.9	3.3	308.7	2.3
4月27日	298.0	4.1	312.9	4.2

先週号においては『305円～315程度での動きを予想する。上に抜けるには、世界経済に対する見方がもっと楽観的になる必要があるだろうし、下に抜けるにはタイの介入が全く見られないという事態にならないと難しいだろう。よって逆張り継続である』とコメントした。

今週の相場展開は、300円台でのみみ合い推移から、週末には315円まで一時戻しての終了である。

○東京ゴム日足（最終日は10時現在までの値動きです）

…削除済み…

直近の高値343.6円(3/14)→301.8円(4/17)までの下げ幅は41.8円。まだ完全に底を打ったと断言できる状態ではないものの、300円割れは回避されてGWを迎えており、もしかしたら下げ止まったかな？と感じさせる動きである。

チャートではネックラインだった320.4円(3/7)が上値抵抗線であり、これを越えて行けなければトレンドは変わらない。よって何らかの強材料が出ない限りは、そこを上限とする戻り売り相場と言えなくもない。

タイの市場介入は、未だ積極的に行われている気配はない。だが農務副大臣は、原料価格を出来るだけ早く120パーツに引き上げ、年後半には目標価格を150パーツに設定、更に来年は180パーツに引き上げると発言。

政治家の言葉に信用がおけるかどうかはどこの国でも同じだと思うが、現在の原料価格が108パーツ程度である事を考えると、かなりの大風呂敷を広げた格好である。150パーツなんて言うのは、今から約1.5倍の水準であり、国内価格450円と言ったのと同じだからね。

なお一代の動きは以下のとおり。

東京ゴム一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年4月	292.5	10月26日	330.6	2月27日	248.6	11月11日	288.9
2012年5月	266.0	11月25日	335.0	2月27日	256.9	1月5日	298.0
2012年6月	279.6	12月22日	339.5	2月27日	258.7	1月5日	300.0
2012年7月	324.0	1月26日	342.0	2月27日	296.5	4月27日	305.0
2012年8月	340.7	2月24日	344.4	2月27日	299.7	4月17日	308.5
2012年9月	341.2	3月27日	341.9	3月27日	301.8	4月17日	311.0
2012年10月	307.2	4月24日	315.0	4月27日	303.9	4月24日	312.9

当先のサヤは、5月限 298.0 円～10月限 312.9 円と **14.9 円の順ザヤ**。順ザヤ幅は縮小である。

**週末現在の輸入採算価格は、…中略…**

国内営業倉庫在庫は、4/10 現在で 363 トン減の 14,237 トン。2 旬ぶりの減少である。

上海ゴム在庫は、…中略…

上海ゴム価格は、27,000 元台まで戻ってきている。

結論として当方の相場観は、**300 円割れ回避**で、底は打ったのかもしれない。320 円は上値抵抗線であるゆえ、戻してもそれは当面壁になるだろう。重要なのは、今後の世界景気の動向とタイの政策であろう。

## 〔石油製品〕

### 今週の原油の値動き

	4月限(当限)	前日比	9月限(先限)	前日比
4月23日	¥60,350	70	¥58,140	-130
4月24日	¥60,150	-200	¥57,700	-440
4月25日	¥60,240	90	¥58,070	370
4月26日	¥60,210	-30	¥58,190	120
4月27日	¥60,200	-10	¥57,960	-230

まずは原油から…

先週号においては『まだトレンドは下向きだが、金融政策によってはそろそろ顎を刺されるような急反騰が起きてもおかしくないだろう。ここからは再度買い狙いである』とコメントした。

今週の相場展開は、NY原油は相変わらず100ドル台でのみみ合い。今週末は104.93ドルの終了であり、徐々にまた上向きになってきた気配。

東京原油は、58,000円を挟んでのみみ合い。円安でNY原油以上に上がった分を円高で消し、その為替が今はみみ合い乱高下であるために、東京原油も同様の動きとなっているわけだ。

○ NY原油日足 (4/26現在)

…削除済み…

週末4/27のNY市場は、前日比0.38ドル高の104.93ドル。円高であるため、国内換算では15時半比170円高である。

相場は110.55ドル(3/1)を記録した後、ずっと100ドル台での横ばいとなっている。

ゴールドマン・サックスがぶち上げた「ブレントで夏場には140ドル目標」と言うのが生きていくとするならば、そろそろ上げ始めてもおかしくはないが…。

問題は日本でのGW最終日に当たる5/6の欧州動向か。この日はフランス大統領選の決選投票であり、ギリシャの総選挙でもある。原油価格は、多分に政治的な影響も色濃く受けるだけに。

なお週末のロンドンブレントは119ドル台後半、ドバイ原油は116ドル台である。

4/24現在のファンドのポジションは、…中略…

○東京原油日足 (最終日は10時現在までの値動きです)

…削除済み…

63,550円(3/15)→57,060円(4/17)までの下げ幅は6,490円である。そこからはちょっと戻して、今週は58,000円を挟んだ展開だ。

トレンドは下向きから横ばいへと変化であり、これが底入れなのか？それとも下げ道中の中段のみみ合いなのか？というところ。

金融緩和が現実になれば急反騰だったのだから、すべて玉虫色の発表であっただけに、相場は上にも下にも行けなかったわけだ。

なお一代の動きは以下のとおり。

東京原油一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年4月	¥50,630	11月1日	¥65,020	3月15日	¥48,130	12月19日	¥60,200
2012年5月	¥51,720	12月1日	¥64,380	3月15日	¥47,910	12月19日	¥58,910
2012年6月	¥51,590	1月4日	¥64,020	3月15日	¥51,100	1月4日	¥58,730
2012年7月	¥51,290	2月1日	¥63,810	3月15日	¥51,040	2月3日	¥58,430
2012年8月	¥59,290	3月1日	¥63,550	3月15日	¥57,290	4月17日	¥58,180
2012年9月	¥60,800	4月2日	¥61,900	4月4日	¥57,060	4月17日	¥57,960

結論として当方の相場観は、底を打ったのかどうかはGW明けの動きを見ての判断としたい。だがいずれにせよ、夏場の原油相場は買い狙いが妥当だろう。問題はどこで買うかという事。

今週のガソリンの値動き

	5月限(当限)	前日比	10月限(先限)	前日比
4月23日	¥71,690	-620	¥70,130	-430
4月24日	¥71,070	-620	¥69,180	-950
4月25日	¥72,050	980	¥69,750	570
	6月限(当限)	前日比	11月限(先限)	前日比
4月26日	¥72,570	720	¥69,380	
4月27日	¥72,780	210	¥69,080	-300

続いてガソリンです…先週号においては『7万円割れで最後の投げも出たのではあるまいか。ここからは買い狙いであり、どこかで売り方の顎を刺されるような上げが到来するものと考え』とコメントした。

今週の相場展開は、69,000円割れも出現であり、69,420円(4/17)は底ではなかったという動きを示現。しかし大崩れにはならず、GW前半に突入である。

○東京ガソリン日足(最終日は10時現在までの値動きです)

…削除済み…

三尊天井型の相場は、先物引継ぎ足でだが77,810円(3/15)→68,800円(4/27)まで9,010円の下げとなった。

チャートでは一目均衡表の雲の下に完全に出ており、トレンドもまだ右肩下がりの格好である。どこかでドカンと下がらないと底を打たぬような気もするが、それが来たら買いたいところ。

まだ上がりもしていないわけだが、買いたい価格が来た時に、勇気を持って買えるかどうかの問題かもしれない。

一代の推移は、以下のとおり。

東京ガソリン一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年5月	¥62,380	10月26日	¥80,750	3月15日	¥59,350	11月22日	¥72,050
2012年6月	¥61,020	11月28日	¥80,590	3月15日	¥60,510	12月19日	¥72,780
2012年7月	¥61,750	12月26日	¥79,810	3月15日	¥62,500	12月30日	¥72,650
2012年8月	¥66,800	1月26日	¥78,910	3月15日	¥64,920	2月3日	¥71,900
2012年9月	¥75,030	2月27日	¥77,810	3月15日	¥69,820	4月24日	¥70,990
2012年10月	¥74,980	3月26日	¥75,430	3月28日	¥68,890	4月24日	¥69,860
2012年11月	¥69,280	4月26日	¥69,690	4月27日	¥68,800	4月27日	¥69,080

4/27現在の業者間転売価格は、…中略…

4/21現在のガソリン在庫は、…中略…

結論として当方の相場観は、GW明けから買いを仕込みたいが、どうせ買うなら安値を期待。



今週の灯油の値動き

	5月限(当限)	前日比	10月限(先限)	前日比
4月23日	¥68,500	100	¥70,130	-330
4月24日	¥68,350	-150	¥69,220	-810
4月25日	¥68,740	390	¥69,630	410
	6月限(当限)	前日比	11月限(先限)	前日比
4月26日	¥68,940	370	¥70,980	
4月27日	¥68,940	0	¥70,860	-120

最後に灯油です…先週号においては『7万円割れは底でもおかしくないだろう。この安値は買い場と考え、買い拾い始めても良いものとする』とコメントした。

今週の相場展開は、68,990円(4/24)まで一時値を消すものの、週末までに7万円台は回復。なお11月きりは順当に順ザヤ発会となった。

○東京灯油日足(最終日は10時現在までの値動きです)

…削除済み…

3/15の高値75,730円→68,990円(4/17)までの下げ幅は6,740円。ネックラインを割り込んだ相場は、一瞬69,000円を割れて7万円台に振り返り。

基本的に、今の灯油は売りで取る相場ではないという考えには変化ない。GW明けからは買いを考えたいが、どうせ買うなら安い場面で買いたいわけで、さてGW明けの相場はどうなっているか…。

なお一代の推移は、以下のとおり。

東京灯油一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年5月	¥61,740	10月26日	¥74,050	3月15日	¥59,010	12月19日	<b>¥68,740</b>
2012年6月	¥62,400	11月28日	¥74,200	3月15日	¥58,700	12月19日	¥68,940
2012年7月	¥61,750	12月26日	¥74,500	3月15日	¥50,660	12月30日	¥68,800
2012年8月	¥63,840	1月26日	¥75,130	3月15日	¥61,870	2月3日	¥69,000
2012年9月	¥73,400	2月27日	¥75,730	3月15日	<b>¥68,240</b>	<b>4月24日</b>	¥69,400
2012年10月	¥74,590	3月26日	¥75,370	3月28日	<b>¥68,990</b>	<b>4月24日</b>	¥70,110
2012年11月	<b>¥70,800</b>	<b>4月26日</b>	<b>¥71,400</b>	<b>4月27日</b>	<b>¥70,520</b>	<b>4月27日</b>	¥70,860

4/27現在の業者間転売価格は、…中略…

4/21現在の灯油在庫は、…中略…

結論として当方の相場観は、買い狙いの相場であるという見方は変わらないが、完全に底を打ったのかどうかはまだ不明。GW明けの相場で判断したい。

## [為替]

### ○ ドル/円相場日足

…削除済み…

84.17 円 (3/15) →80.29 円 (4/16) まで 4 円近く円高が進んだ後、しばらくは 81 円台でのみ合いが続いていた。

しかし週末の NY 市場では、高値 80.26 円、終値 80.35 円と円高で終了。日銀の金融政策決定会合の後の相場がこれでは、もうちょっと円高があるのかもしれない。

### ○ ユーロ/円相場日足

…削除済み…

104.60 円 (4/16) →107.99 円 (4/20) まで円安に反転していた相場だが、ドル/円と同様に週末の NY 市場では若干円高に。106 円台半ばで終了している。

来週は選挙や ECB の理事会など欧州材料が目白押しであるため、GW 明けの相場に注意が必要なのかもしれない。

### ○ ユーロ/ドル相場日足

…削除済み…

4 月に入ってからの横ばい相場が続いているが、僅かにドル安の動きだ。スペイン国債の格下げなど騒いでいるものの、少なくとも商品・為替市場には何の影響も出ていないという事。

だからと言って、このまま何事も無く進むとは限らないが…。

---

このレポートは、私が個人的な判断で書いたものです。

内容の責任はすべて私に帰するものですが、取引に対する利益を保証するものではありません。

(当たり前ですが念のため)

ひげの中ちゃん相場情報

中田幸一郎

メールアドレス [info@higenaka.com](mailto:info@higenaka.com)